

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(60歳代男性)があり、症状は全身倦怠感・発熱・食欲不振・黄疸・肝機能異常です。推定感染地域は、国内で、推定感染経路は経口感染です。
- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は発熱・咳嗽・呼吸困難・肺炎です。推定感染地域は、国内で、推定感染経路は水系感染です。
- ・ アメーバ赤痢の報告が3例(40歳代男性1例, 50歳代男性2例)あります。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(50歳代女性)あり、本年の累積報告数は29例となっています。症状は頭痛・発熱・全身倦怠感・意識障害・菌血症です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は不明です。

◆ 今週のトピックス:<手足口病>

- ・ 京都市における手足口病の定点当たり報告数は2.26(95例)で、先週の2.12(89例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 5例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 5例
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 3例(腸管アメーバ症 2例, 腸管外アメーバ症 1例)(第16週及び第18週追加分2例含む)【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 29例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.65	45
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.00	378
	② 手足口病	2.26	95
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.98	83
	④ 咽頭結膜熱	0.67	28
	⑤ 突発性発しん	0.57	24
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

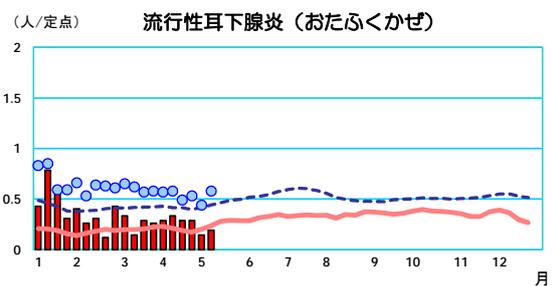
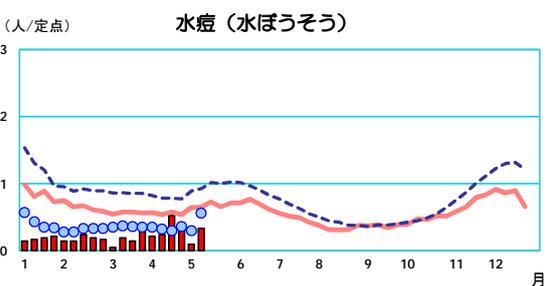
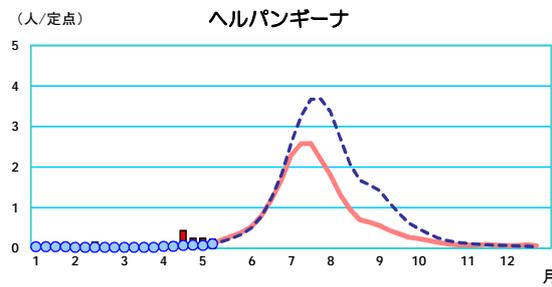
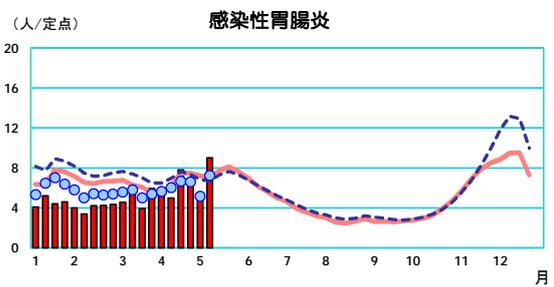
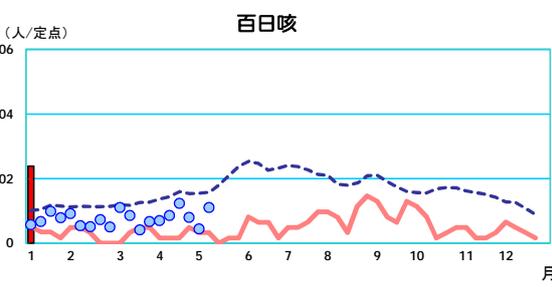
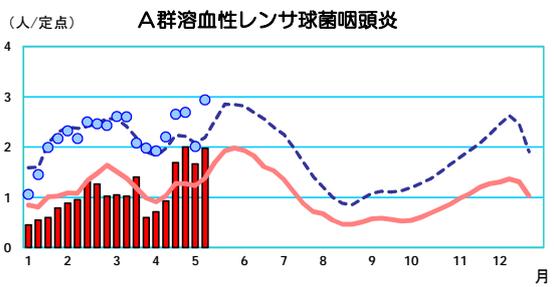
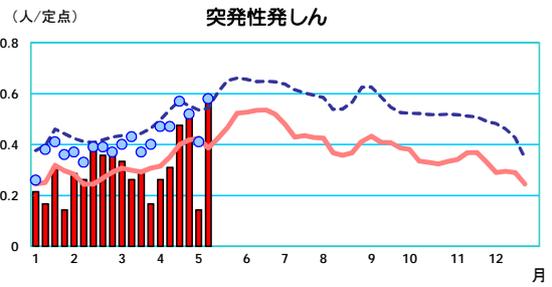
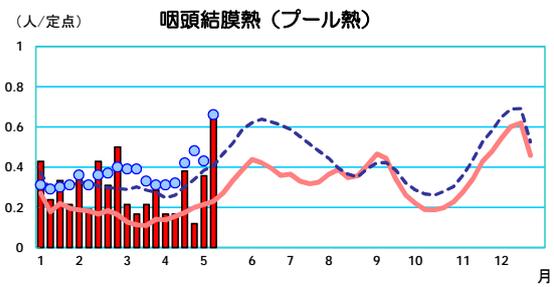
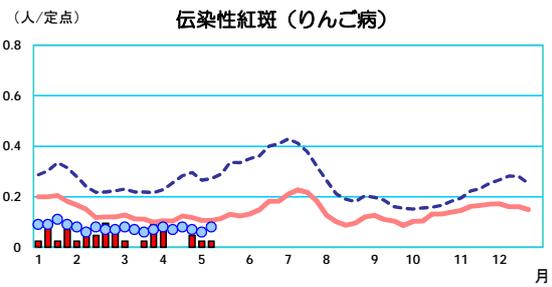
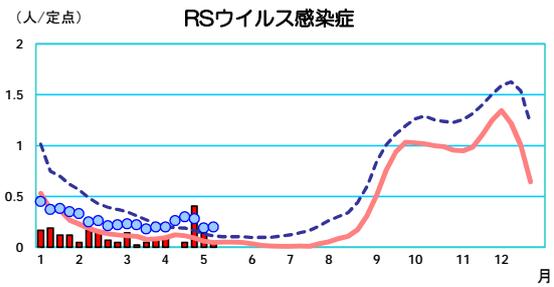
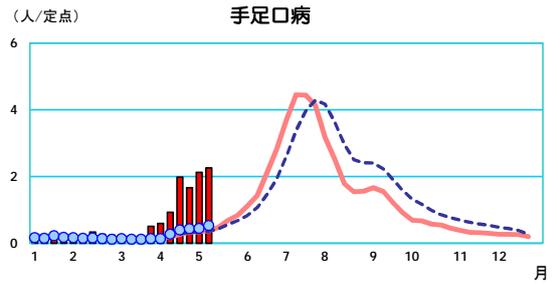
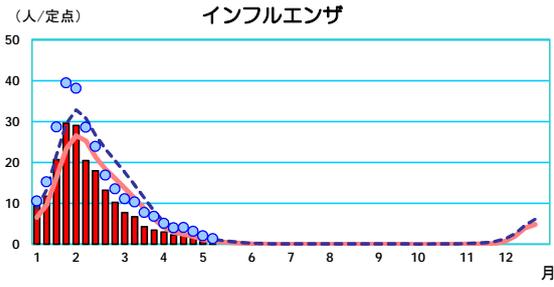
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<手足口病>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年5月18日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第19週(5月8日～5月14日)トピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は2.26(95例)で、先週の2.12(89例)から増加しました。第13週から本市の過去5年平均値を上回る状況が続いており、特に第16週以降は大きく上回る状況が続いています(図1)。

手足口病の原因となるウイルスは、コクサッキーA6型及びA16型、エンテロウイルス71型など数種類あり、毎年異なった割合で検出されます。全国的に大流行した平成23年、25年及び27年はコクサッキーA6型の検出割合が多い傾向にありました。本年は本格的流行期前で、まだ報告数が少ないものの、コクサッキーA6型の割合が多くなっています(図2)。大流行の年と同じ傾向が見られるため、今後十分な警戒が必要と考えられます。

京都市の各行政区の定点あたり報告数を見ると、右京区、南区で先週に引き続いて警報開始基準値である「5」を超えています。次いで伏見区も先週と同程度でした。(図3)。

京都市では、手洗い方法や手足口病のリーフレットを作成しています。下記URLより入手できます。印刷して掲示するなど、是非ご利用ください。

○京都市衛生環境研究所ホームページ「手洗いの方法」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

○こどもの感染症リーフレット「手足口病」(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/teashikutibyou.pdf>

図1 京都市と全国の流行状況

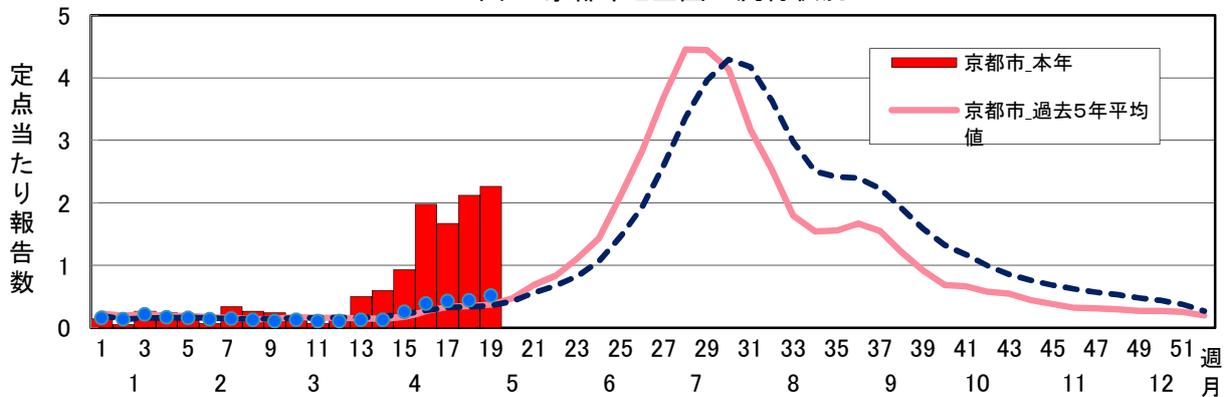


図2 手足口病患者から分離・検出されたウイルスの数とコクサッキーA6型の割合(全国)

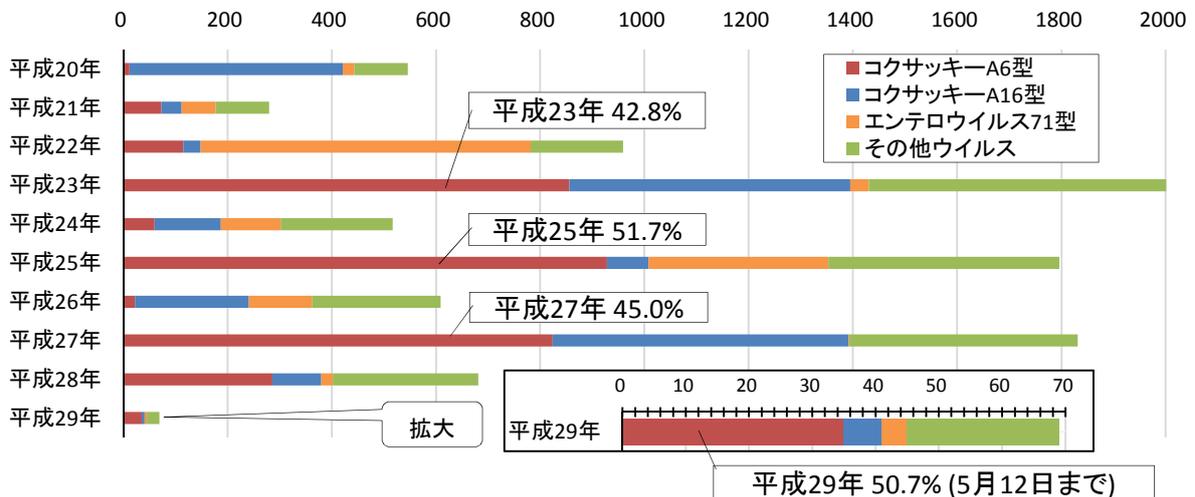
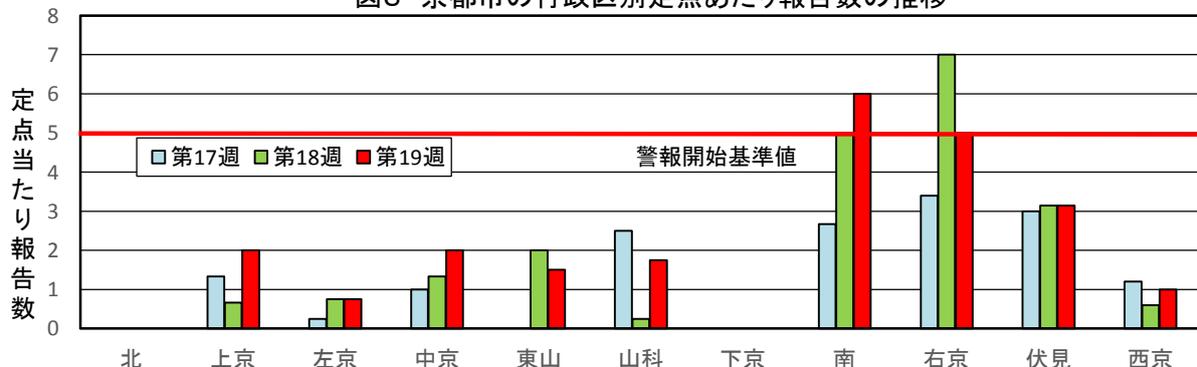


図3 京都市の行政区別定点あたり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第19週

疾病,行政区別報告数

平成29年5月8日～平成29年5月14日

データ入手日:平成29年5月18日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	5	-	6	3	4	-	-	-	1	-	-	-	-	1						
上京	3	-	1	5	15	-	6	-	3	-	-	-	-	2						
左京	4	2	5	8	66	-	3	-	1	-	-	-	-	-						
中京	4	-	1	7	18	-	6	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	23	-	3	-	1	-	-	-	-	-						
山科	3	-	-	4	9	4	7	-	8	-	-	1	-	2						
下京	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	10	-	-	-	20	4	18	-	1	-	7	2	-	-						
右京	7	-	3	22	64	1	25	-	4	-	-	1	-	1						
伏見	6	-	5	23	96	5	22	-	4	-	-	3	-	-						
西京	1	-	7	9	60	-	5	1	-	-	1	1	-	-						
京都市計	45	2	28	83	378	14	95	1	24	-	9	8	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.71	-	1.50	0.75	1.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	1.00						
上京	0.60	-	0.33	1.67	5.00	-	2.00	-	1.00	-	-	-	-	2.00						
左京	0.57	0.50	1.25	2.00	16.50	-	0.75	-	0.25	-	-	-	-	-						
中京	0.80	-	0.33	2.33	6.00	-	2.00	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	11.50	-	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	0.43	-	-	1.00	2.25	1.00	1.75	-	2.00	-	-	0.25	-	2.00						
下京	0.67	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	2.00	-	-	-	6.67	1.33	6.00	-	0.33	-	2.33	0.67	-	-						
右京	0.88	-	0.60	4.40	12.80	0.20	5.00	-	0.80	-	-	0.20	-	1.00						
伏見	0.55	-	0.71	3.29	13.71	0.71	3.14	-	0.57	-	-	0.43	-	-						
西京	0.13	-	1.40	1.80	12.00	-	1.00	0.20	-	-	0.20	0.20	-	-						
京都市計	0.65	0.05	0.67	1.98	9.00	0.33	2.26	0.02	0.57	-	0.21	0.19	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第19週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年5月8日～平成29年5月14日

データ入手日:平成29年5月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	45	-	1	2	1	3	6	3	4	1	4	1	4	2	3	5	3	1	-	-	1
RSウイルス感染症	年齢2	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢3	28	-	7	7	2	7	2	1	-	-	-	-	-	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	83	1	-	5	4	10	8	10	10	8	5	6	11	1	4						
感染性胃腸炎	年齢1	378	5	32	59	44	50	29	25	14	12	15	12	29	11	41						
水痘	年齢2	14	-	-	3	2	1	2	-	2	-	2	-	2	-	-						
手足口病	年齢3	95	-	9	56	17	6	4	-	-	2	-	-	-	-	1						
伝染性紅斑	年齢4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	年齢1	24	-	6	15	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	年齢3	9	-	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-						
流行性耳下腺炎	年齢4	8	-	-	-	1	-	-	1	-	1	2	1	2	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性角結膜炎	年齢2	6	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.65	-	0.01	0.03	0.01	0.04	0.09	0.04	0.06	0.01	0.06	0.01	0.06	0.03	0.04	0.07	0.04	0.01	-	-	0.01
RSウイルス感染症	年齢2	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	年齢3	0.67	-	0.17	0.17	0.05	0.17	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	0.05						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	1.98	0.02	-	0.12	0.10	0.24	0.19	0.24	0.24	0.19	0.12	0.14	0.26	0.02	0.10						
感染性胃腸炎	年齢1	9.00	0.12	0.76	1.40	1.05	1.19	0.69	0.60	0.33	0.29	0.36	0.29	0.69	0.26	0.98						
水痘	年齢2	0.33	-	-	0.07	0.05	0.02	0.05	-	0.05	-	0.05	-	0.05	-	-						
手足口病	年齢3	2.26	-	0.21	1.33	0.40	0.14	0.10	-	-	0.05	-	-	-	-	0.02						
伝染性紅斑	年齢4	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	年齢1	0.57	-	0.14	0.36	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	年齢3	0.21	-	0.10	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-						
流行性耳下腺炎	年齢4	0.19	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	0.05	0.02	0.05	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性角結膜炎	年齢2	0.60	0.10	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第19週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年5月18日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		208	158	155	177	71	45
RSウイルス感染症		4	-	2	17	6	2
咽頭結膜熱		7	7	16	5	15	28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		30	39	71	84	70	83
感染性胃腸炎		227	209	327	287	227	378
水痘		9	10	22	13	4	14
手足口病		25	39	83	70	89	95
伝染性紅斑		4	-	-	2	1	1
突発性発しん		11	13	20	22	6	24
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	6	18	10	10	9
流行性耳下腺炎		12	14	12	12	6	8
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	8	7	3	2	6
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		541	503	733	702	507	693

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		3.01	2.29	2.25	2.57	1.03	0.65
RSウイルス感染症		0.10	-	0.05	0.40	0.14	0.05
咽頭結膜熱		0.17	0.17	0.38	0.12	0.36	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.71	0.93	1.69	2.00	1.67	1.98
感染性胃腸炎		5.40	4.98	7.79	6.83	5.40	9.00
水痘		0.21	0.24	0.52	0.31	0.10	0.33
手足口病		0.60	0.93	1.98	1.67	2.12	2.26
伝染性紅斑		0.10	-	-	0.05	0.02	0.02
突発性発しん		0.26	0.31	0.48	0.52	0.14	0.57
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	0.14	0.43	0.24	0.24	0.21
流行性耳下腺炎		0.29	0.33	0.29	0.29	0.14	0.19
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.80	0.70	0.30	0.20	0.60
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.17	11.11	16.54	15.29	11.56	16.54

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。